

〈報告〉 9月29日 高浜町戸別訪問

✿ 土砂崩れや波が高ければ避難できない

9月29日（日）に高浜町の内浦湾周辺の地区（音海、小黒飯、上瀬、日引、等）を戸別訪問しました。戸別訪問には福井、京都北部、大阪、兵庫、奈良から11名が参加しました。

7月に訪問したときに町のみなさんから、高浜原発で事故が起きれば避難できるのかという不安の声を多く聞きました。今回の訪問でも事故が起きたときの避難についての不安の声が多くありました。汚染水対策のシルトフェンスについては多くの人が「役に立たない」「それでは駄目」と言っていました。また、原発はダメと思っている人もいました。

戸別訪問で聞いた町のみなさんの声を紹介します。（T）



音海海岸から臨む高浜原発

福島原発事故を受け、今一生懸命何か対策やっているが、原発の敷地を守ることしか考えていない。避難する事について等、住民のことなど全然考えていない。おかしい。自分の所だけ防潮堤を高くしたりしているが、音海の人間はどうやって逃げて行くのか

心配だが自分の子どもが関電で働いている。年寄り2人しか残っていないので、どうにもならない

事故が起きたら遮断機で止められるだろう
私達は事故が起きたら閉じ込められる

うねうねとした山道を避難できるような道に舗装もしないで再稼働なんてとんでもない話

防災の問題はおかしいが、かといってどうにもならない。原発全体としてもどうにもならない

どうやって逃げるかは具体的な話はない。訓練はやっているが。1回目はバスが迎えにきて、逃げたがその時、なんでわざわざ原発の前を通過して逃げなければいけないのかという話が出て、2回目は船を使おうということになった。訓練だから上手く行ったが、道は潰れたら使えない、船は波があったら使えない。2回目の訓練は3年前だったと思う

バイパス作っても結局一緒。同じルートだから。意味が分からない。ちょっとおかしい

今こそ再稼働させずに止め続けなければならぬ

トンネルが通る所の住民は皆ハンコを押したのに、工事が始まらない

若い時に原発の仕事をしていたが、そのころは何も思わなかったが、これだけいろんなことが分かってくるとよいことはないと思う